

109 止血帯法について**正しいもの**はどれか

1. 幅の広い（約3cm以上）三角巾や包帯などを使用する
2. 止血を必要とするとき一番はじめに行うべき止血法である
3. 全身のどこの傷口に対しても行える安全な止血法である
4. 10分以上続ける場合は、10分に一度止血帯をゆるめ血流の再開をはかる

110 止血手当の際の心得について**誤っているもの**はどれか

1. 止血を行った後は、速やかに石鹸などを用いて流水で手を洗う
2. 飛び散った血液が、身体に付着しないように注意して行う
3. 止血手当を行った部位は、原則として低く保つ
4. 口の近くからの出血の場合は、口の中に血液が流れ込まないような体位にする

111 「頭痛」の時の手当として**誤っているもの**はどれか

1. 急激に激しい頭痛をおこす代表的な疾患に、クモ膜下出血がある
2. 痛みが激しい時は座位にして、温かいタオルで頭を温める
3. 状態をよく観察し、頭痛が強くなる、意識がおかしい、嘔吐、けいれん、麻痺、しびれなどがあれば、すぐに119番に通報する
4. 意識がない、または非常に反応が鈍くなってきたら、心肺蘇生法を救急車が来るまで行う

112 「腹痛」の時の手当として**誤っているもの**はどれか

1. 緊急を要する腹痛（急性腹症）に、急性虫垂炎、腸閉塞、急性胆管炎などがある
2. 腹痛がおこったら、膝を立てて、あお向けに寝かせる
3. 吐き気をもよおしたら、我慢して吐かないでもらい、水分を与える
4. 状態をよく観察し、激しい痛みが続く、おなかがふくれ上がる、腔から出血している（女性）、ショック症状があるなどがあれば、すぐに119番に通報する

113 「呼吸が苦しい」時の手当として**誤っているもの**はどれか

1. 衣服をゆるめ、息苦しさが増すので上半身を高くしないようにあお向けに寝かせる
2. 寒くない程度に窓を開け、換気をよくする
3. 背中を前に押す感じでさすりながら、落ち着かせる
4. 状態をよく観察し、意識が混濁している、脈が弱い、顔色が青ざめている、手足が冷たいなどがあれば、すぐに119番に通報する